



## 1 就職内定 嬉しい報告



情報技術に精通した人材のニーズが高まっています。本校でも4月から就職内定者が続々と増えています。

今回の内定者3人は、次の通りです。いずれも基本情報技術者試験に合格し、生産管理に関する専門技術(プロダクションコントロール等)を学んでいます。

- 『茨城水産株式会社』  
武士飛龍さん(水戸啓明高卒)
- 『株式会社HIRANUMA』  
中村幹太さん(日立北高卒)
- 『株式会社青山製作所』  
藤原大地さん(勝田高卒)

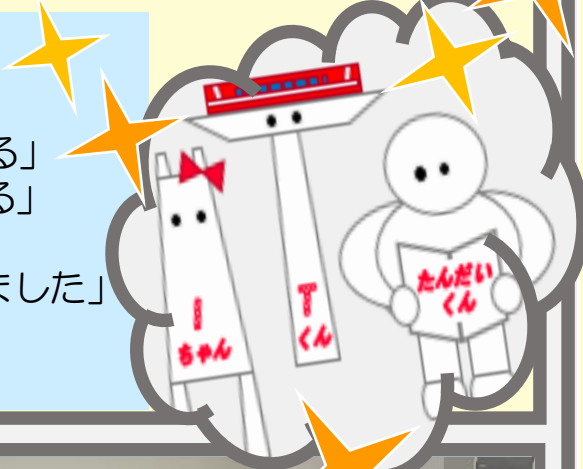
←笑顔の武士さん、中村さん、藤原さん(左から)

Q1 どんなIT技術者を目指しますか?

- A1
- 武士さん「周りを動かす人になる」
  - 中村さん「人として技術者として信頼される人材になる」
  - 藤原さん「ITなら社内で一番の知識を持った人材となる」

Q2 本校での学びと成果は?

- A2
- 武士さん「IT技術を一から学び、確かな資格を取得しました」
  - 中村さん「国家資格を取得し、IT技術を深めました」
  - 藤原さん「様々なプログラミング言語を学びました」



## 2 集中学習の成果発揮



定期試験に臨む第一学年の学生

7月21日(木)に定期試験(システム構築、ネットワーク、データベース:各試験時間100分)が実施されました。試験を終えた1年の作山翔梧さん(多賀高卒)は「集中して学習してきたので出来たと思う」と話していました。

## 3 エネルギーを考える



「キャリア教育」の演習風景

二年生全員が履修する「キャリア教育」演習では、エネルギーに関する課題発見からその解決に向けてグループ協議を行っていました。

指導された講師は、グループで協議した内容を模造紙にまとめ、8月29日(月)にディベート大会を実施すると話されていました。

「バイオマス利用した再生エネルギー」を担当する、足立陽伽瑠さん(友部高卒)は「カーボンニュートラルについても調べるなど大いに勉強になります」と話していました。

## 4 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

＜記事＞日本経済新聞(2022年7月11日)  
「民主主義応える政治を」

◇要約

●五味千怜さん(麻生高卒)  
民主主義を守るためには政治がその信頼に応えなければならない。民主主義の土台を支えるのは経済と安全保障である。「黄金の3年間」は民主主義を守るためにさえ維持に与えられた時間である。

●増山すみれさん(水戸商高卒)  
現在日本では多くの問題を抱えている。物価高騰への対応、電力不足によるエネルギー構築、年々下がる特殊出生率、東アジア、日韓の安保、憲法改正などこれから始まる黄金の3年間にすべてが託されている。

◇感想

●小川颯斗さん(日立商高卒)  
国民の信頼に応えるための活動は大変だなと思った。安倍晋三元首相の銃撃は日本では起きてはいけない悲惨な事件だ。人口減の対策や出生率、国同士の関係など民主主義を守ることも容易ではないと改めて思った。

●三村航芽さん(水戸商高卒)  
現在の日本政府の大変さを改めて実感した。物価高騰、電力需給、合計特殊出生率、国防、日韓関係、コロナウイルスなどへの対策をどの順序で解決していくのか考える時間が必要である。今後の政府の行動に注目したい。

●作山翔梧さん(多賀高卒)  
今この記事の中だけでも民主主義の土台の不安定化、人口減、隣国との対立など、多くの日本の問題が載っている。以上のことから日本は多くの問題があることがわかる。私は投資やITによって日本を支えていきたいと思う。

